

平成28年度

# 函館・大沼・噴火湾ルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2017/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	-	-	-	次年度以降に、景観に関する勉強会やビューポイント周辺等の景観阻害箇所における現地調査などを行い、景観阻害の改善等の取組につなげていきたい。
	テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-	-	-	
ビューポイントを発掘する	シーニックフォト倶楽部の設立	-	-	-	-	-	-	どうなん・追分シーニックバイウエイルートとの連携したフォトコンテストを開催。次年度以降は、フォトコン写真を活用した道の駅等での巡回パネル展によるビューポイントのPR活動を行っていきたい。
	H17シーニックバスツアーの開催	森町の魅力再発見 町内見学バスツアー	森町観光ボランティアガイドの会	平成28年9月11日(日)	約40名 主催者:10名 一般参加:30名	-	-	
	シーニックルートマップの作成	-	-	-	-	-	-	
	フォトコンテストの開催	道南エリアルート 四季のフォトコンテスト	函館・大沼・噴火湾ルート、どうなん・追分シーニックバイウエイルート	平成28年8月1日～平成29年2月28日フォトコンテスト 応募期間。 審査会平成29年3月17日	・参加人数 48名 ・応募作品数 178点 ・入賞作品 31点 ・審査員 10名 関係者 4名	-	-	
景観	清掃活動の実施	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート	平成28年4月29日(祝)	90名 主催者:75名 一般参加:15名	A - 1	ルート内のビューポイント周辺等における景観向上及びおもてなし活動として、平成20年度から実施しているシーニック清掃活動やお花の植栽活動等を実施。次年度以降は、シーニック清掃活動としてのエリア拡大や景観阻害の改善に向けた検討・取組を実施していきたい。	
		大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会等	平成28年4月24日(日)	約300名 主催者:10名 一般参加:290名	-		
		道道大沼公園線清掃	七飯町建設協会 協力:(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会	平成28年9月9日(金)	約50名 主催者:50名	-		
		といハマナス街道清掃活動	278といハマナスの会	平成28年4月29日(祝)	約20名 主催者:20名	-		
		大船遺跡周辺清掃	北の縄文CLUB	平成28年4月16日(土)	約15名 主催者:15名	-		
	植栽活動の実施	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成28年5月～10月	約900名(6/11植栽時) 主催者:900名	A - 2		
		湯の川温泉街花いっぱいロード	函館湯の川温泉旅館協同組合	平成28年5月～10月	約40名(5/28植栽時) 主催者:40名	-		
						-		
						-		
		といハマナス街道	278といハマナスの会	平成28年4月～10月	約20名(6月植栽時) 主催者:20名	-		
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	さわらフラワーロード	森町花いっぱい運動推進協議会	平成28年5月～10月	約240名(5/21,22植栽時) 主催者:240名	-		
		景観阻害の改善	-	-	-	-		-

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2017/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28				活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		
地域	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	-	-	-	-	-	自然を活用したガイドツアーや環境教育プログラムの提供、ブナの森を蘇らせるため、平成21年度から実施しているシーニックの森づくり事業を実施。次年度以降は、日程の調整や関係機関へのPRによる参加者の確保につなげていきたい。
		横津岳ガイドツアーの開催	-	-	-	-	-	
		八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	-	-	-	-	-	
		自然環境教育プログラムの提供	シーニックの森づくり事業 ～スキヤリと経過調査～	函館・大沼・噴火湾ルート 協力: NGO函館自然観察会	平成28年8月21日(日)、28日(日)	約60名 主催者: 10名 一般参加: 50名	A - 3	
		その他	夷王山ガイドツアー	NGO函館自然観察会	平成28年10月9日(日)	9名 主催者: 8名 一般参加: 1名	-	
			第12回赤松こも巻き体験会	赤松街道を愛する会	平成28年10月15日(土)	約90名 主催者: 10名 一般参加: 80名	-	
			第12回赤松こも外し体験会	赤松街道を愛する会	平成29年3月11日(土)	約90名 主催者: 10名 一般参加: 80名	-	
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-	-	-	ガイドの発掘・育成については、次年度以降検討を行ってきたい。
			-	-	-	-	-	
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	-	-	-	-	-	
-			-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2017/3/31	
地域	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28				活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		
地域	地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	キャンドル製作体験会in五稜郭タワー	シーニックdeナイト実行委員会 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成29年1月29日(日)	約150名 主催: 10名 一般参加: 140名	-	会員が手作りしたカップ等の作品を展示、販売する催しやシーニックdeナイトで使用するワックスキャンドルの製作体験会を実施。次年度以降も、製作体験会のイベント等を活用し、地域と来訪者の心をつなぐ取組を継続していきたい。
			キャンドル製作体験会in石川町会館	石川町会 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成28年12月11日(日)	約100名 主催: 20名 一般参加: 80名	-	
			キャンドル製作体験会in森町社会福祉協議会	シーニックdeナイト実行委員会 協力: 森町観光ボランティアガイドの会等	平成29年1月28日(土)	約90名 主催者: 20名 一般参加: 70名	-	
			キャンドル製作体験会in渡島総合振興局	渡島総合振興局 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成29年1月28日(土)	約45名 主催者: 12名 一般参加: 33名	-	
			キャンドル製作体験会in函館管理ステーション	函館・大沼・噴火湾ルート行政連絡会議 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成29年1月17日(火)	25名 主催者: 25名	-	
			光の街の手工芸家達の作品展11	函館手工芸の会	平成28年9月16日(金)～20日(火)	約1,200名 主催者: 40名 一般参加: 1,200名	-	
内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルートメーリングリスト開設	函館・大沼・噴火湾ルート	平成28年6月	-	-	メーリングリストを開設し、シーニック等に係る情報共有、ルート審査委員会によるルート視察等を実施。次年度以降も、メーリングリストを活用したシーニック等の情報発信を行い、内部的な関心の共有、意識醸成を図っていきたい。
			函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルート	平成28年4月	-	-	
	その他	シーニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート&どうなん・追分シーニックバイウェイルート 現地視察	シーニックバイウェイ北海道推進協議会 協力: 函館・大沼・噴火湾ルート等	平成28年6月4日(土)～5日(日)	約70名 主催者: 10名 一般参加: 60名	-		
		石田先生をお招きした“シーニック勉強会”	函館・大沼・噴火湾ルート等	平成28年10月30日(日)	約35名 主催者: 11名 一般参加: 24名	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2017/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28				活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		
地域	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-	-	札幌駅前通地下歩行空間及び函館アリーナにて、タペストリーの展示や物販等によるルートのPRを実施。次年度以降も、積極的にルートのPRを行っていきたい。
		FMいるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-	-	
		FMいるかの特別番組「8月10日「道の日」による情報発信」	-	-	-	-	-	
		その他	Welcom! シーニックバイウェイ北海道@チ・カ・ホ2016春	シーニックバイウェイ北海道推進協議会 協力: 函館・大沼・噴火湾ルート等	平成28年5月16日(月)～22日(日)	約5,000名 主催者: 40名 一般参加: 5,000名	-	
			Welcom! シーニックバイウェイ北海道@チ・カ・ホ2016秋	シーニックバイウェイ北海道推進協議会 協力: 函館・大沼・噴火湾ルート等	平成28年10月17日(月)～21日(金)	主催者: 15名	-	
			Welcom! シーニックバイウェイ北海道@2017ふゆトピア・フェアin函館における物販	2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会 協力: 函館・大沼・噴火湾ルート等	平成29年1月26日(木)～27日(金)	約390名 主催者: 20名 一般参加: 370名	-	
多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成  地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-	-	フォトコン結果を活用した絵ハガキ等の販売等による情報ツールの開発・販売を行っていきたい。	
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていきたい。	
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催	-	-	-	-		
		「鹿部町間歇泉とホタテの耳吊り体験ツアー」	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎	報告年月日: 2017/3/31
---------------------	----------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28				活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	縄文文化を体験	春の縄文染め	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年5月22日(日)	約10名 主催者:2名 一般参加:8名	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていきたい。
			夏の縄文染め	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年8月21日(日)	約6名 主催者:2名 一般参加:4名	-	
			秋の縄文染め	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年11月13日(日)	約11名 主催者:2名 一般参加:9名	-	
							-	
			縄文土器づくり	北の縄文CLUB	平成28年8月27日(土)	約15名 主催者:15名	-	
			土器づくり	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年10月2日(日)	約10名 主催者:2名 一般参加:8名	-	
							-	
			土器野焼き	北の縄文CLUB	平成28年10月8日(土)	約15名 主催者:15名	-	
							-	
			縄文釣り体験～鹿角釣り針づくり～	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年6月19日(日)	約36名 主催者:3名 一般参加:33名	-	
			縄文釣り体験～鹿角釣り針で海釣り体験～	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年7月3日(日)	約20名 主催者:3名 一般参加:17名	-	
			石器づくり体験	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年9月11日(日)	約20名 主催者:3名 一般参加:17名	-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2017/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
		魚形石器づくり	北の縄文CLUB	平成28年6月25日(土)	約15名 主催者:15名	-		
		竪穴住居の模型をつくってみよう	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団	平成28年8月7日(日)	約47名 主催者:3名 一般参加:44名	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
観光	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	-	-	-	-	-	平成18年度から継続しているシーニックdeナイトを今年度も実施。地域の拡大と婚活の視点も取り入れた新たな手法による取組を展開。次年度以降も地域の拡大等団体相互の連携強化を図り、さらなる観光客の獲得を目指し、ツアーの造成等の検討、PRの充実を図っていきたい。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	-	-	
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	-	-	
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	シーニックdeナイト2017	シーニックdeナイト実行委員会	平成29年2月4日(土)、5日(日)、11日(土)	主催者:600名	A - 4	
		場所を変えた観光分科会の開催	-	-	-	-	-	
	歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
		「函館の港を船上から学ぶ」講座	-	-	-	-	-	
その他		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、国道沿線や観光地などをきれいにするおもてなしの活動を行っている。今年度は下記の3箇所で一斉に実施した。今後は、活動団体や関係機関とのさらなる連携強化を図り、活動箇所の拡大を目指す。
- 【日時】平成28年4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭公園周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺（以上、函館市）、  
田園通り・高台通り周辺（七飯町）  
※函館市縄文文化交流センターは、悪天候のため中止
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】主催者：75名、一般参加：15名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲七飯町田園通り

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：はこだて花かいどう

【概要】 国道や道道沿線などにお花を植栽し、ルート全体でお花によるおもてなしの活動を行っている。その中で、平成16年度から始まっている「はこだて花かいどう」では、地域の町会や小中高校生、スポーツ少年団、沿線企業、行政など、地域が一丸となって、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと活動を行っており、最近では、ミミズによる堆肥づくりといった循環型の活動も取り入れ、活動を行っている。今後は、次世代の人材育成のさらなる強化に努める。

【日時】 平成28年5月～10月

（植栽：6/11、全体維持活動：7/9、8/6、9/10、撤去：10/30）

【場所】 国道5号（函館新道）沿線 函館市石川町及び桔梗町

【主催】 函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】 主催者：約900名（植栽時）



▲植栽時



▲全体維持活動時



▲撤去時



# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業  
～ススキ刈りと経過調査～

【概要】平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO<sub>2</sub>削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りをメインに行っている。今後は、植樹の強化と合わせた維持管理の継続によるブナの森再生とさらなる参加者確保を目指す。

【日時】平成28年8月21日（日）、28日（日）

【場所】きじひき森林公園の森

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】主催者：10名、一般参加：50名



▲8/21活動時

▲8/28活動時

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2017

- 【概要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを並べ、ほのかで暖かな灯りが広がる。ワックスキャンドルに使用しているろうそくは、100%植物性のものを使用し環境にも配慮した活動を行っている。五稜郭公園では、少子化対策の一環としてボランティア活動に重点を置いた婚活イベントとしても実施。次年度も継続を望む声が多かったことから、実施地域の拡大や継続を目指す一方、ツアーの造成等の検討実施によるさらなる観光客の獲得を目指す。
- 【日時】平成29年2月4日（土）、5日（日）、11日（土）
- 【場所】函館市地域交流まちづくりセンター、五稜郭公園、函館市縄文文化交流センター、函館新道、はこだて朝市ひろば（以上、函館市）、オニウシ公園（森町）、噴火湾パノラマパーク（八雲町）  
※大沼国定公園は、併催イベントの事故のため自粛
- 【主催】シーニックdeナイト2017実行委員会
- 【参加人数】主催者：約600名



▲シーニックdeナイト  
チラシ



▲函館市縄文文化交流センター



▲噴火湾パノラマパーク



▲五稜郭公園

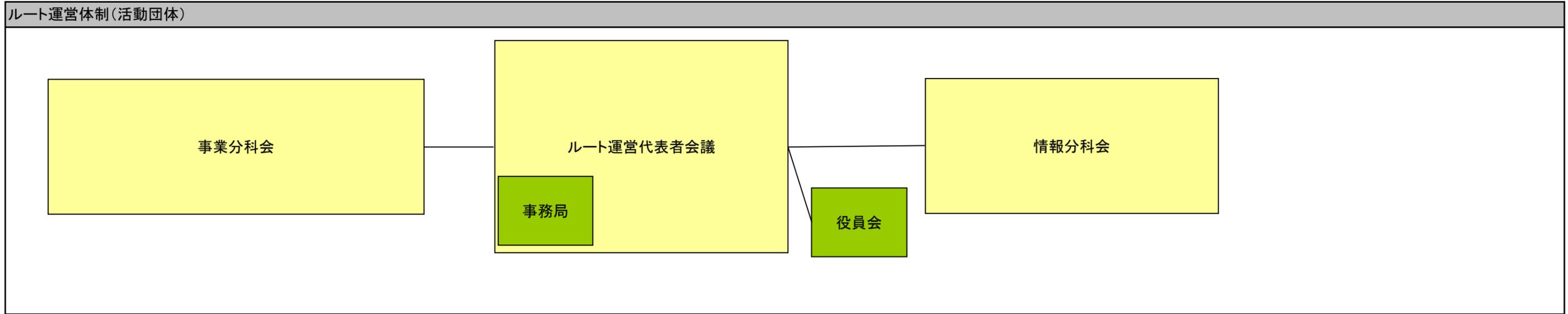


▲ボランティアde愛  
チラシ

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎	報告年月: 2017/3/31
---------------------	----------------------------	-----------------

<p>活動団体</p> <p>函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館商工会議所青年部、函館21の会、函館湯の川温泉旅館協同組合青年部、NGO函館自然観察会、NPO法人スプリングボードユニティ21、北の縄文CLUB、(一財)道南歴史文化振興財団、NPO法人どうなん「学び」サポートセンター、NPO法人函館エコロジークラブ、活カユニット、函館すぷれっと、はこだて菜の花プロジェクト、ふしぎな花倶楽部、函館花いっぱい道づくりの会、函館手工芸の会、(一財)北海道国際交流センター、NPO法人NPOサポートはこだて、戸井コミュニティビジネス研究会、(一社)北斗市観光協会、七飯町商工会、(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、鹿部温泉観光協会、森町観光ボランティアガイドの会、森町花いっぱい運動推進協議会、(一社)八雲観光物産協会</p>
---



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議				12日									
	役員会													
	事業分科会													
	情報分科会													

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2017/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営行政連絡会議										17日			

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2017/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	美しい景観とは何かについて考える	-	-	-	-		-
	ビューポイントを発掘する	森町の魅力再発見 町内見学バスツアー	平成28年9月11日(日)	森町	森町の魅力再発見 町内見学バスツアーへの活動に参加した。		-
		道南エリアルート四季のフォトコンテスト	平成28年8月1日～平成29年2月28日 フォトコンテスト応募期間。 審査会平成29年3月17日	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、函館市、北斗市、七飯町、森町、鹿部町、八雲町	四季のフォトコンテストチラシにおける後援名義の提供、審査委員会の審査員としての参加を行った。また、ポスター・チラシの掲示等によるPRを行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。今後は、行政連絡会議と連携したパネル展の展開が必要。		-
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	平成28年4月29日(祝)	函館開発建設部、七飯町	シーニック清掃活動に参加した。また、HPIによる情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		A-1
		大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	平成28年4月24日(日)	渡島総合振興局、七飯町	大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動に参加した。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行ってきたい。	-
		はこだて花かいどう	平成28年5月～10月	函館開発建設部、函館市	はこだて花かいどうにおける植栽や全体維持活動、撤去等に係る活動に参加した。また、HPIによる情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		A-2
		湯の川温泉街花いっぱいロード	平成28年5月～10月	函館開発建設部	行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		-
		といハマナス街道	平成28年4月～10月	函館開発建設部	といハマナス街道への活動に参加した。また、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		-
		さわらフラワーロード	平成28年5月～10月	函館開発建設部、森町	さわらフラワーロードへの活動に参加した。また、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		-
		第12回赤松こも巻き体験会	平成28年10月15日(土)	函館開発建設部、七飯町	こも巻き体験会に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。今後は、行政連絡会議を通じた活動のPRが必要。		-
第12回赤松こも外し体験会	平成29年3月11日(土)	函館開発建設部、七飯町	こも外し体験会に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。今後は、行政連絡会議を通じた活動のPRが必要。	-			
自然を守りながらうまく活用していく	シーニックの森づくり事業 ～スキ刈りと経過調査～	平成28年8月21日(日)	函館開発建設部	シーニックの森づくり事業におけるスキ刈り等の維持活動に参加した。また、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。今後は、行政連絡会議を通じた開催日の日程調整やさらなる参加呼びかけが必要。	A-3		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	ガイドの発掘・育成	-	-	-	-		-
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作体験会in石川町会館	平成28年12月11日(日)	函館開発建設部、森町	キャンドル製作体験会に参加した。また、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	-
		キャンドル製作体験会in五稜郭タワー	平成29年1月29日(日)	函館開発建設部、函館運輸支局	キャンドル製作体験会に参加した。また、HPによる情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。今後は、行政連絡会議を通じたさらなる参加呼びかけが必要。		-
		キャンドル製作体験会in森町社会福祉協議会	平成29年1月28日(土)	森町	キャンドル製作体験会に参加した。行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		-
		キャンドル製作体験会in渡島総合振興局	平成29年1月28日(土)	渡島総合振興局	キャンドル製作体験会に参加した。また、HPによる情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		-
		キャンドル製作体験会in函館管理ステーション	平成29年1月17日(火)	函館開発建設部、函館運輸支局、北海道森林管理局、渡島総合振興局、函館市、北斗市、七飯町、鹿部町、森町、日本自動車連盟函館支部	行政連絡会議を開催し、その中でキャンドル製作体験会を実施し、参加した。		-
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	シーニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート&どうなん・追分シーニックバイウェイルート 現地視察	平成28年6月4日(土)～5日(日)	函館開発建設部	シーニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート&どうなん・追分シーニックバイウェイルート現地視察に参加した。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	-
		石田先生をお招きした“シーニック勉強会”	平成28年10月30日(日)	函館開発建設部、渡島総合振興局、函館市、七飯町	シーニック勉強会に参加した。また、行政連絡会議を通じた活動の参加呼びかけを行った。		-
	地域メディアとのタイアップ	-	-	-	-		-
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	-	-	-	-		-
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	-	-	-	-		-
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	シーニックdeナイト2017	平成29年2月4日(土)、5日(日)、11日(土)	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、森町、八雲町、日本自動車連盟函館支部	シーニックdeナイト2017に参加した。また、HPや広報誌による情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。今後は、行政連絡会議を通じたさらなる参加呼びかけが必要。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	A-4
	歴史を学び活かす	-	-	-	-		-